

足尾の山に緑を取り戻す、苗木を育てる活動

群馬県沼田市老人クラブみのり会(第一、第二合同)
 会員数・103名(男性・37名・女性・66名)



活動参加メンバー



沼田公園

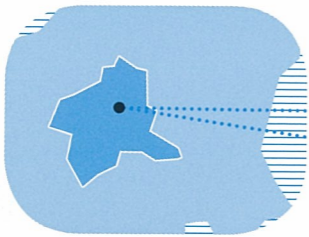


苗を仮植する箱

尾町役場に苗の活用について問い合わせたところ、「苗が不足しているのでぜひお願いしたい」ということでした。そこで、まずは自分一人で公園の苗を箱に仮植して秋まで育てた約1000本の苗木を車で持ってきて、先方の係の人から細かい説明を聞いてきました。次年度からはみのり会の活動にしようと準備に取りかかったのは、平成17年秋のことでした。

苗木の成長を祈って

私たちのみのり会は、第一と第二の二つの会に分かれています。活動は合同で行っています。会で小林さんの提案を相談したところ、快く賛成して有志で早速段取りに入りました。まず箱を集めて春を待ちました。例年5月より月2回は公園の清掃を2時間くらいしています。そのあとで雑木林に入って苗を掘り取り、各人家に持ち帰って準備していた箱に植え付けます。毎日水やりなどの管理をして秋まで育てました。苗木が育った11月、足尾へ連絡すると、「足尾に緑を育てる会」が2トントラックで取りに来てくれました。5〜6年はそのように苗を育てていましたが、会員の年齢



群馬県
沼田市



苗木をトラックに積み込む

も高くなったため、最近では櫛やくぬぎのどんぐりを拾って、秋に蒔き付けて1年管理してから翌年秋に取りにきていただいています。現在、苗木を育てている会員は足腰元気な20人くらいです。
 この活動が認められて、特定非営利活動法人「足尾に緑を育てる会」から感謝状をいただきました。さらに平成22年、群馬県知事から「長年にわたり地域の環境美化及び森林保全活動の推進に寄与された」として顕彰状もいただきました。

沼田市は日本一の河岸段丘の街で、四方を谷川岳、武尊山、赤城山、子持山三國連山の山に、三方を川に囲まれ、自然の宝庫・尾瀬、世界遺産・日光の玄関口です。森林文化都市をスローガンにしており、平成10年に全国植樹祭、平成22年に育樹祭が行われました。
 みのり会のある町内には、城跡である沼田公園があります。櫛、櫛、栗などの根元には苗が敷き詰められた雑木林に囲まれ、春は桜、つつじから秋の紅葉まで楽しめます。

活動を開始したきっかけ

活動の発起人である、小林正一副会長の話を紹介します。

私は住居が公園内にあり、木材業をしている関係で木に関心があります。朝夕の散歩や清掃活動などで公園を歩きながら、雑木の根元の苗が気がかりで、何か良い利用法はないかと考えていました。そんな矢先テレビで見たのは、足尾銅山周辺の山は銅を精製するための煙害等により木々が無くなってしまったため、その山々に木を植える運動をしているということでした。足

今年も木の芽がでるのを待っています。5月の苗の植え付け時期になりましたら、春の会員研修旅行として約2時間かかる足尾の山へ行き、実際の植え付けを見学する予定です。これまでに2万本以上の苗木を届けてきました。最初の苗木がどのくらい大きくなっているのか楽しみです。

健康、社会奉仕に力を入れて

最後に、みのり会のこれ以外の活動について紹介いたします。

- ・4月総会で今年の計画をたてる
- ・公園清掃は、毎月1日と15日
- ・グラウンド・ゴルフは、毎週月・水・金曜日
- ・輪投げの練習は、毎週火・木・土曜日
- ・筋力トレーニングは、毎週木曜日午前9時から2時間

その他、町内のゴミ拾い、自主パトロール。町内の廃品回収等へ協力もしています。昨年度は市老連体育大会輪投げの部で優勝して、県大会へ行ってきました。

今後とも、元気の限り社会のお手伝いをするよう皆と話し合っております。

(会長 桜澤二三夫)